



黒須田だより

5月号

横浜市立黒須田小学校 学校だより

2019年4月25日

人を大切にする気持ち

校長 岡 カズミ

「平成」から「令和」へ、新しい時代の幕開けが間近となってきました。

学校では新学期から1か月が過ぎ、子どもたちも少しずつ新しい環境に慣れてきたようです。緊張していた4月当初とはちがい、友達や先生との楽しげな会話がどの教室からも聞こえてきます。

入学式に1年生に「進んであいさつをすること」「“ありがとう”と“ごめんなさい”をちゃんと言えるようになること」の二つを頑張ってもらいたいと話しました。簡単なことのように思いますが、しっかりと意識をしないと形だけのものになってしまいます。さて、どうなるかしらと見守っていたところ、とても素敵な光景がたくさん見られるようになりました。特に、あいさつについては朝から元気いっぱいの声が学校中に響くようになりました。1年生だけでなく、どの学年も気持ちの良いあいさつで登校してきます。そして、うっかりあいさつをせずに通り過ぎようとした1年生に6年生がそっと肩をやさしくたたきながら「ほら」とあいさつを促す、そんな姿も見るできるようになりました。これからもぜひ、続けてほしいと思います。



また、4月15日には「1年生を迎える会」が行われ、各学年が前年度から準備した歌やメダルなどのプレゼントや仲良くなるためのゲームなどで入学のお祝いをしました。この会の中で毎年行われる「6年生による1年生の呼名」はいつも全校が楽しみにしている時間です。これはペアになる1年生の名前を6年生が一人ずつ呼び、1年生が手を挙げて「はい」と返事をするものです。今年も91名全員の名前が呼ばれ、しっかりと返事ができました。見守るほかの学年の子どもたちもとても真剣に聞いていました。きっと、自分が1年生だった時に大切に呼名してもらったときのうれしい気持ちを覚えているからだと思います。一人ひとりが、この時間の大切な意味をしっかりと理解しているのだと感じました。

人に大切にされた経験は、ほかの人を大切にする気持ちを育てます。人を大切にする気持ちをしっかりと育み、一人ひとりが安心して過ごすことができる居心地の良い学校を子どもたちと一緒に創っていきたくと考えています。

10連休が終わると、いよいよ6月1日の運動会に向けて活動がスタートします。一人ひとりが自分の力を精いっぱい発揮して、楽しい運動会にしてほしいと思います。

練習が始まりますと、近隣の皆様には大きな音等でご迷惑をおかけすることと思います。なにとぞご理解とご協力を今年度もよろしくお願いいたします。